

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
大子町	水道事業	大子町水道事業

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

現行の体制で、比較的健全な運営が行えているため。

（今後の経営改革の方向性等）

委託設計を減らし、自主設計化を進めるとともに「簡易水道」の統合と併せて経費の節減に努め、事務の効率化を図る。

地方公営企業の抜本的な改革等の取組状況（平成28年3月31日現在）

団体名	事業名	公営企業の名称
大子町	下水道事業	大子町特定地域生活排水事業

実施状況

抜本的な改革の取組状況							現行の経営体制を継続
事業廃止	民営化・民間譲渡	地方独立行政法人化	広域化・広域連携	PFI	指定管理者制度	包括的民間委託	
							○

現行の経営体制・手法を継続する理由、今後の方向性

（現行の経営体制・手法を継続する理由）

人員に余裕がなく、通常業務をこなすだけで精一杯であることに加え、必要な知見、ノウハウの不足により、抜本的改革の実施の検討ができていないため。

（今後の経営改革の方向性等）

事業の持続可能性を高めるため、PFI事業等民間委託を検討する必要性はあると考える。